



ボランティアセンターだより

2020年6月 No. 139号



地域に広がる布マスク活動 ～縫野 得枝さんのその後～

ぬうの とくえ

マスクづくりボランティアとして「縫野得枝さん」を大募集しました。このマスクづくりは、それぞれの地域で支えあいや見守りの形となり広がっています。地区や自治会などで「縫野得枝さん」の型紙を使って「うちの地区でもマスクが縫えるように、みんなに型紙を渡してあげよう」と各戸に型紙を配ったところもあります。それをきっかけに、「マスクがなくて困っているご近所さん」の助けになればと、顔が見えるご近所同士の地域の助け合いになったところもいくつかあります。そのひとつに、市地区地域づくり協議会による「イチノマスク活動」があります。「んー。どこかで聞いたような？」と思われるかもしれませんが(笑)でも、こちらはれっきとした(?)市地区のボランティアさんが地域のみなさんのためにマスクを作り、希望される市地区の方にお渡しできるしくみにした地域活動です。

みなさんが心悩ましている新型コロナウイルスが地域の助け合いを活発にしてくれたという皮肉な結果ですが、地域のみなさんの「こんな時こそ!!」の思いが大きな力となって現れました。このような活動をきっかけとして、住民のご近所同士のつながりが継続され、より住みやすい地域へと向かいますよう応援していきたいと思います。



6/1

は善意の日

昭和39年、「みんなの小さな善行や善意が重なって、世の中が明るくなるものであり、県民だれもが、この日何か一つ善行をしてもらいたい」との思いから兵庫県では6月1日を「善意の日」としています。“ちょっといいこと”してみませんか?(^_^)



もうちょっと
布マスク
縫うで～

と思われる方
必見!



「島のた『マスク』」作製ボランティア募集!

有償
ボランティア

南あわじ市では、淡路島食材の通販「島のおすそわけ」プロジェクトを実施しています。購入者には玉ねぎ柄の布マスクを「島のた『マスク』」と名付け、購入特典としてお届けしていますが、大変好評で布マスクの作製が追いついていない状況だそうです。そこで、もう一度「縫野得枝さん」のお力を貸してください!!「お手伝いしてもいいよ!」という方は社協までご連絡ください。

★作製の流れ★

1. まずは社協にご連絡ください
2. 指定の布やゴムをお渡ししますので、それを使用して作製をお願いします
3. 出来上がったものは「南あわじ市役所・商工観光課」に届けてください



「島のおすそわけ」の詳しい内容はホームページをご覧ください。

島のおすそわけ



おらせ

南あわじ市社協の
ホームページが新しくなりました!

スマホからもOK!

<https://minamiawaji-shakyo.or.jp/>



南あわじ市社協



発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp





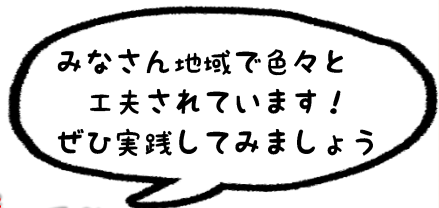
今世わらしべ長者ならぬ「玉ねぎ長者」



新型コロナウイルスの影響で、人と交流することが少なくなっていると思います。そんな中、素敵なエピソードを聞きました。ある方が犬の散歩をしていた途中、「玉ねぎ持って行きー」とご近所の方からいただいた玉ねぎ。散歩の進む中、次に出会った最近越してきた子ども連れのご家族に、話したことはないけれど、「玉ねぎいるかー」と子どもにひとつずつ。それ以来、挨拶をする仲になったそうです。今世長者話は財を成していく話ではありませんが、心の財産を蓄えていけるものになっているようです。日本人特有とされる「会釈」「うなずき」など、通常外国の方には理解しがたいようですが、密に言葉を交わすことが難しい今時世においては、実に便利なツールですね！

南あわじのここにもいる！あっちにもいる！たくさん

こえかけたろう
「声掛太郎・声掛ます代」
こえかけよ
になってくださいね。



みなさん地域で色々
工夫されています！
ぜひ実践してみましょう

ゴミステーションで
会った時に
「どう？」「元気？」



田んぼで見かけたら
忙しいけど
「お〜い」と声掛け



移動販売車が来る日は
なるべくお買い物！
みんな元気が
要チェック★



作った布マスクを
ご近所さんにも
おすそわけ📺



ラジオ体操
気持ちええで〜



湊地区のとある空き地では、毎朝（日・月は休み）8時からご近所の方が集まってラジオ体操をしています。「少しでも身体を動かせたら」との思いから始まり、今年で6年目を迎えます。こんな時だから密は避け、ちょこっとおしゃべりしてからみなさん自宅に帰ります。



今後、サロンや集いの場の再開どうしたらいい？ ~安心して集まれる場に~

地域の集まる場は今、どのような感じですか？新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言を受け、さまざまな自粛をはじめて2か月が経過しました。3月から自粛しているところもあり、楽しそうにがやがやとお話したり、体操したりできなくなり久しいです(涙)「集まっていなくてもメンバーに連絡を取っていたよ」「近くの人が多いので挨拶をして元気な様子を確認していた」「畑や田んぼに出ているのを見かけていた」とあいさつや見守りがなされていたところも多かったと思います。緊急事態宣言が解除され、集まる準備をしようと思っているところも多いはず。「そろそろ集まる準備をしようかな？」「でも、ちょっと気になるな」「ほかのサロンはどうしてるんだろう？」と心配されていることでしょう。

新型コロナウイルス感染症が皆無になることは早々にはないと思われまますので、決まりを守って安心して集まれる場にするために**メンバー同士で進めていく方法を話し合うことは大切なこと**だと思います。社協の出前講座や福祉資材の貸し出しなど気兼ねなくご相談ください。一緒に進めていきましょう!!

